

## 三菱電機ロジスティクス労働組合 第56回定期大会 報告

8月24日(土)、第56回定期大会を開催しました。

第55期の活動を確認するとともに、次の一年に向け運動方針の補強案を提案し、すべての議案が可決・承認されました。

また来賓として運輸労連神奈川県連の望月書記次長にご臨席賜り、時折ユーモアを交えながら連帯と激励のご祝辞を頂戴しました。

### <委員長挨拶>

定期大会開催にあたり、まず19年度の春季交渉について触れておく。すでにご承知の通り、賃金改善1,000円、一時金は昨年同月数で集約した。私たちの最終意思決定を満たすものとして組合員の理解は得られるもの捉えている。特に賃金については6年連続の改善となり、経営への影響が決し



て小さくない中、私たちの要求にこたえてくれた経営の判断に感謝するとともに、周囲周辺に遅れることなく賃金改善が継続していることについて、組合員のみなさまには安直に受け止めることのないように願います。一時金については年間の家計収支サイクルに組み込まれている生活の一部であるという考え方をベースに会社業績を加味して検討する従来の方針に基づき交渉を進めた結果、昨年同月数という結論に至った。組合員・社員の日々の頑張り、主企業の堅調な業績に支えられた結果と認識している。

次に当社の状況と取り巻く環境に触れておく。2019年度の当社の経営計画は減収減益でスタートした。現在もほとんどの事業部が非常に厳しい状況の中で、業務が進められていると承知している。会社方針の最大の命題として三菱電機グループへの貢献が挙げられているが、そこを基軸に各職場で多忙な日々、業務への創意工夫そして効率化が日々繰り返されているものと承知している。合わせて働き方改革やコンプライアンスの徹底の課題もクリアしながらの業務遂行である。非常に難しい状況にあるが、組合としては組合員の感情や思いを重視し、会社とともにこれからの課題に対応していく。

私たちは従来どおり対話と行動を基軸に、皆さんと連携を密にし、今期も活動を進めていきたいと考えている。

以上